

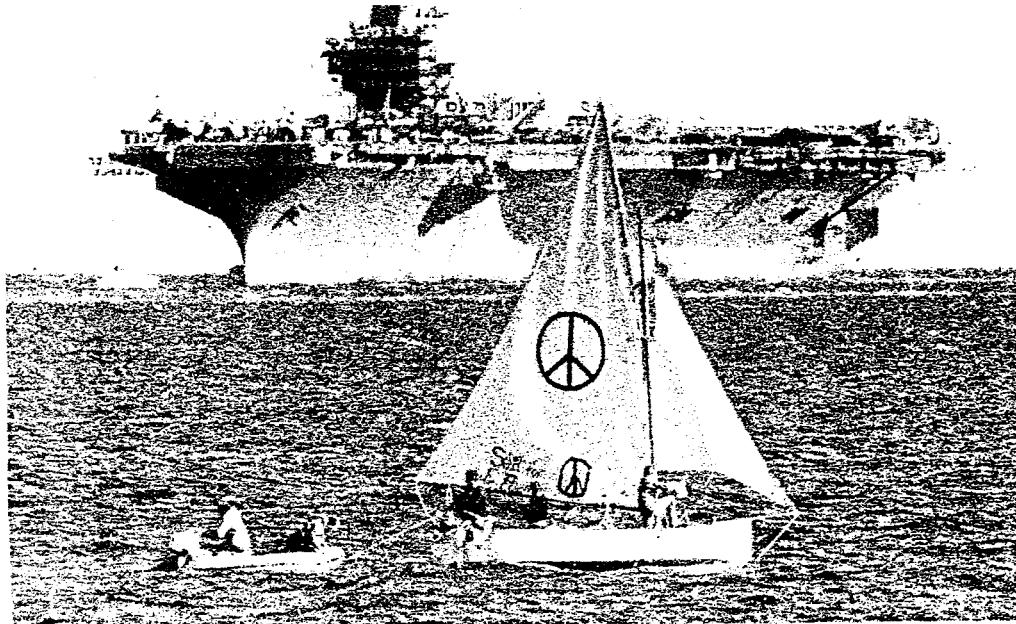
# 月刊トマホーク通信

86.11.20

NO. 13

定価 100円

東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502 トマホーク通信 03(498)6095



## NO WARSHIPS・NO CRUISE MISSILES

十一月にしては随分暖かく感じる土曜日の午後、ひさしぶりに横浜の海に出た。港の小さな遊覧船ゆられながら灰色の水面に餌をついた。小さなゴムボートで「ロングビーチ」に向かってゆらゆらと漕ぎだしたとき、あ、ここは「海」なのだなという小さな発見をしたような気がして妙に嬉しくなったもんだ。

レーガン氏やナカソネ氏、そしてゴルバチョフ氏にとって海はず「シーレーン」なのだろう。米国の核可能艦を初めて受入れたトウショウヘイ氏はどんな「海」を目の前にしているのだろうか。恥ずかしい程に汚し傷付けてしまった海ではある。でも、この向こうに島じまの人々が生命の糧を得る太平洋があるのだと想像することを許しあしい。かつて海によりそつて、生かされていた私たちの「生」の在りかを、出来ることなら取戻すのが、私たちの「反核」でもあるのだから。(た)

### トマホークの配備を許すな！全国運動

#### ●維持会員（月間会費）

団体	1口	2000円
個人	1口	1000円

#### ●参加会員（月間会費）

団体	1口	1000円
個人	1口	500円

#### ●通信会員

年間 2000円

あなたも仲間に！



# 核搭載寄港は常識

## 事故対策は何も無い

### 元原潜艦長は語る

「万が一、事故が起きてからでは取り戻しがつかない」と核兵器や原潜の危険性で警告するブッシュさん

が、いまではちょっと違う。私のようなタイプの非力な人間が「全国」相手のメディアの発行に参加することにもひょっとしたら積極的な意味があるのでないかと考えるようになつたのです。おぼろげながら「編集方針」のようなものも見えてきました。

■この「反トマホーク通信」も一二号。わたしたちが編集に携わるようになってちょうど一年がたちました。よく続いたものだとおもいます。「反トマ通信」に限らず、「全国運動」がやつてきた数々のプロジェクトはほとんどの場合、それぞれに所属するグループや地域に主な活動の場所を持つた人々が力をよせあって進めてきました。私自身もその例外ではなく、神奈川・横浜での核艦船入港拒否や反基地（上瀬谷通信基地）の運動をやりながら文字通り肩で息をしつつ、この「通信」を出していきます。一時は正直言って、なんてことを引受けたのだろうと後悔したものでした。

■この「反トマホーク通信」も一二号。わたしたちが編集に携わるようになってちょうど一年がたちました。よく続いたものだとおもいます。「反トマ通信」に限らず、「全国運動」がやつてきた数々のプロジェクトはほとんどの場合、それぞれに所属するグループや地域に主な活動の場所を持つた人々が力をよせあって進めてきました。私自身もその例外ではなく、神奈川・横浜での核艦船入港拒否や反基地（上瀬谷通信基地）の運動をやりながら文字通り肩で息をしつつ、この「通信」を出していきます。一時は正直言って、なんてことを引受けたのだろうと後悔したものでした。

■世の中にはありとあらゆる情報があふれています。「核」や「軍事」にかかわる情報もその例外ではありません。この洪水の中で、私たちは得てして受け身になりがちだ。沢山の事を知り賢くなれば賢くなるほど状況が動かしがたい、つまり「われらの出る幕なし」という感じになる。そんな経験はありませんか？でも、この情報の洪水に現状を何とか変えたい、という意思を持ってむきあうとき、ちょっと自分の積極性を呼出して組立てなおしてみると、それはまた違つた「現実」と

が、いまではちょっと違う。私のようなタイプの非力な人間が「全国」相手のメディアの発行に参加することにもひょっとしたら積極的な意味があるのでないかと考えるようになつたのです。おぼろげながら「編集方針」のようなものも見えてきました。

■世の中にはありとあらゆる情報があふれています。「核」や「軍事」にかかわる情報もその例外ではありません。この洪水の中で、私たちは得てして受け身になりがちだ。沢山の事を知り賢くなれば賢くなるほど状況が動かしがたい、つまり「われらの出る幕なし」という感じになる。そんな経験はありませんか？でも、この情報の洪水に現状を何とか変えたい、という意思を持ってむきあうとき、ちょっと自分の積極性を呼出して組立てなおしてみると、それはまた違つた「現実」と

●「ラロック証言」で知られるジーン・ラロック元少将が主宰する国防情報センターの副所長でミサイル原潜艦長のキャリアを持つジエラムス・T・ブッシュ元海軍大佐が国際平和年神奈川県民実行委員会の招きで来日し、神奈川県内各地で講演を行なつた。核持込みや核事故についての生々しい証言である。十一月十一日、川崎市宮前文化センターで行われた講演会を取材した。（編集部）

ブッシュ氏は退役軍人が多く所属する国防情報センターの事情から、機密事項に属する事は答えられない場合もあると断わった上で約百人の聴衆を前に言葉を選びながら、しかし、終止符直で誠実な態度をくすよすに自らの経験から語りはじめた。

氏は、一九五二年から二六年間海軍に在籍、駆逐艦をふりだしに通常型潜水艦、原潜に乗務、一九七〇年に陸上勤務となつた。艦上勤務の最後の三年間は、大西洋配備のボラリス型ミサイル原潜の艦長として「核発射ボタンを押す」立場にあつた。

しかし、陸上勤務を機に大学で歴史と人間学び、それまで抱いていた核の過剰配備への疑問、核の密室性、非民主性に確信を持ち、退役。国防情報センターには八二年に参加した。

以下、講演は同センターがメインテーマに据えているトマホークを中心とし、会場からの質問にも答えながら進められた。その要旨は次の通りである。

### □万が一の事故対策は何も無い

トマホーク配備反対の理由は三つある。第一に軍事的価値にかかわることだ。すでに、核は過剰配備の状態になつており、もうこれ以上いらないということだ。第二に、核軍縮の観点からみて余りに問題が多い。トマホークは核・非核の外見上の区別がつけられず検証が不可能のため、軍備管理交渉の終末を意味する。第三に港の安全の問題だ。軍の正式データでもトマホークが核爆発を伴わない事故を起こしてブルトニウムを飛散させた場合、風下二八マイル、幅二・五マイルの範囲は除染不可能な核汚染をうける。

軍当局は核兵器の取扱い上の安全には細心の注意を払っているが、万が一の事故がたとえばニューヨークや東京湾でおこつた場合の対策は何もない。

だから、核ミサイル搭載艦の母港は大都市には置かれないのが通例だった。たとえば私が艦長を勤めていたミサイル原潜の母港は表向きはチャールストンであったが、実際には



(4) はるか人里はなれたところだった。その意味で戦艦アイオワのニューヨーク母港化は安全対策についての重大な変更がなされた事を示しているのではないか。

□「否」正も正もしない」

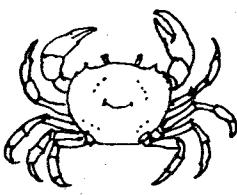
政策は市民向け

□全ての「核能力艦」は

実際に核を積んでいる

米国の政策が問題をさらに複雑化している。「否定も肯定もしない」政策の根柢は公式には相手を困惑させて抑止力を強めるためと説明しているが、これはテタラメだ。核の配備状況はソ連にすべて簡抜けである。この政策の本当の意図は入港先の市民に情報を与えないといためだ。正しい知識の上に艦船を受入れるかどうかを判断することを許さない、ということだ。日本国民はなぜ米国に問い合わせないうのか。

核兵器搭載可能な艦船が港に入るまえに、核兵器を降ろしたことは一度もない。これはラロック氏と私たちがつぶさに検討した結論だ。

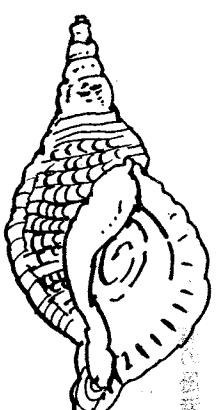


テストが終わっていない。カナダで二回実験したのみだ。ソ連は積雪のため地形が変わらやすく精度上の問題が大きい。対艦攻撃用の物は良くわからない。ただし、これは現場からは極めて不評を買っている。経験的にいつて、田標との距離が五十キロを越えると、それが軍艦なのか民間船なのか、敵か味方かを判別するのは不可能だ。これに対し対艦トマホークの射程距離は長すぎる。

(核トマホーク能力を持つていて艦船は必ず核を積んでいるのか?との質問に答えて)核能力については三つの段階がある。まずNOCLEAR CAPABLE 核能力を有する(コントロール・システムを持つ)。第二段階としてNUCLEAR CERTIFIED LED 検定(テスト)済み。そしてNUCLEAR ARMED 核を実際に載せていく。しかしこの段階分けはあくまでも概念的なものであって実際には核能力を持つた艦船が、たとえば太平洋や日本にやって来るとき

トマホークの配備状況は現在約一五〇発。

対地攻撃用核ミサイルが主体で艦船のすべてと攻撃型原潜、水上艦に実戦配備されている。一方、対地攻撃用通常弾頭型のものはまだ



に素手のままのはずはない、というのが国防情報センターの統一見解である。  
水上艦船ならば外部から確認できるが原潜ではそれは不可能。したがってソ連は、当然すべての攻撃型原潜に核トマホークを積んでいるとみなして対応するだろう。

□横須賀への原潜寄港増加の理由

に素手のままのはずはない、というのが国防情報センターの統一見解である。  
母港以外に寄港する必然性はない。それでは何故、横須賀への寄港が増加しているのかについて一つ指摘しておきたいことがある。

現在、米国はトライデント・ミサイル原潜を八隻持っているが、その全てが太平洋配備だ。ソ連は、攻撃型原潜を使ってそれらを追跡、情報収集する活動を活発化している。それに対抗して米国の攻撃型原潜の活動も活発になっていることのあらわれだ。

(ア)

滋賀県あいは野で十一月下旬から行われようとしている陸上自衛隊と米軍海兵隊との合同演習に反対する運動の中、トマホーク阻止京都連絡会の仲間が新しい分野の運動を切り拓いた。

京都からの報告によれば、米海兵隊が演習で核砲弾装着可能な一五五ミリりゆう弾砲を持込む可能性がある。それが大阪湾から名神高速を利用して演習場に持込まれるとすれば、京都市内を通過する。ところが、京都市には「非核平和都市宣言」(一九八三年三月)、十三日採択があり、つきのような第二項がある。

つまり、京都市は核兵器積載の疑いがあるだけでそれを拒否するという、厳しい非核条項を自らに課しているのである。そして、いま、日米共同演習の中で、それが踏みにじられようとしている。京都トマ連では市長に公開質問状を発した。

この運動がどれだけの大衆的な広がりを生むか、まだ未知数である。しかし、これは現在、アメリカの核戦略にそつて急進展している

日米軍事演習の公開質問状に86.11/8

京都版

個別回答必要ない 京都市

滋賀県は、今日下旬を定め、「平和都市宣言に賛成いかない」とする公演質問状を出した。これに対し同連絡会は「五十一年日本初の陸上自衛隊と米軍による共同演習をめぐり、反対に對し、京都市は七日、九月十月から十一月にかけて約二週間、北海道で行われた日米艦船を載せる市民団体「トマホーク阻止京都連絡会」(吉田謙吾子代表)はこのほど、今川正彦京都市長に対し「演習場へ行くために京都市内を通過する米軍が、核兵器を持ち込む可能がある。これは京都市の非核化をめざすことを決めた。今川市長は、月下旬から十二月上旬までの約二週間、滋賀県在住の要職野の演習にも米海兵隊が核兵器を載せる可能性もある。しか

## 新分野の闘いが始まった

## －あいば野日米共同演習と 京都市非核宣言

朝日  
文都版

## 個別回答必要ない

京都市

滋賀県あいは野で十一月下旬から行われた。うとしている陸上自衛隊と米軍海兵隊との合同演習に反対する運動の中で、トマホーク阻止京都連絡会の仲間が新しい分野の運動を切り拓いた。

京都からの報告によれば、米海兵隊が演習で核砲弾装着可能な一五五ミリりゆう弾砲を持込む可能性がある。それが大阪湾から名神高速を利用して演習場に持込まれるとすれば、京都市内を通過する。ところが、京都市には「非核平和都市宣言」（一九八三年三月二十三日採択）があり、つぎのような第二項がある。

つまり、京都市は核兵器積載の疑いがあるだけでそれを拒否するという、厳しい非核条項を自らに課しているのである。そして、いま、日米共同演習の中で、それが踏みにじられようとしている。京都トマ連では市長に公開質問状を発した。

この運動がどれだけの大衆的な広がりを生むか、まだ未知数である。しかし、これは現在、アメリカの核戦略にそつて急進展していく京都市は核兵器および核兵器積載の疑いのあるものの、京都市域への通過、搬入、飛来、貯蔵、滞留を拒否する。

①核疑惑艦船の入港に反対する運動が港を持つ地域を中心に行われているが、それ以外の地域において非核の実質化を求める運動的具体例を示した。

②日米共同軍事演習が常態化しているが、それに非核自治体の立場から反対をする具体的な例を示した。

③非核自治体宣言の再点検を迫っている。

「否定も肯定もしない」政策の根拠は公式上は相手を困惑させて抑止力を強めるためと説明しているが、これはデタラメだ。核の配備状況はソ連にすべて筒抜けである。この政策の本当の意図は入港先の市民に情報を与えないとためだ。正しい知識の上に艦船を受入れることどうかを判断することを許さない、ということだ。日本国民はなぜ米国に問い合わせなさいのか。

核兵器を降ろしたことは一度もない。これはラロック氏と私たちがつぶさに検討した結論だ。

テストが終わっていない。カナダで二回実験したのみだ。ソ連は積雪のため地形が変わりやすく精度上の問題が大きい。対艦攻撃用の物は良くわからない。ただし、これは現場からは極めて不評を買っている。経験的にいつて、田標との距離が五十キロを越えると、それが軍艦なのか民間船なのか、敵か味方かを判別するのは不可能だ。これに対して対艦トマホークの射程距離は長すぎる。

(核トマホーク能力を持つている艦船は必ず核を積んでいるのか?との質問に答えて)核能力については三つの段階がある。まずNUCLEAR CAPABLE 核能力を有する(コントロール・システムを持つ)。第二段階としてNUCLEAR CERTIFIED NED 検定(テスト)済み。そしてNUCLEAR ARMED 核を実際に載せている。しかしこの段階分けはあくまでも概念的なものであって実際には核能力を持つた艦船が、ことえは太平洋や日本にやって来るとき

## □横須賀への原潜寄港増加の理由

はるか人里はなれたところだった。その意味で戦艦アイオワのニューヨーク母港化は安全対策についての重大な変更がなされた事を示しているのではないか。

## □全ての「核能力監視」は

A detailed line drawing of a large, spiral seashell, likely a whelk, showing its coiled structure and siphonal canal.

と結婚、その後、異状なことが起こる。ふたりの間に生まれた子供には奇形があったのだ。夫から離婚を告げられた彼女は原爆病院で治療を受けるため、日本へ密航する。だが発見され彼女はつかまってしまう。そこへひとりのアメリカ人神父があらわれ、彼の助けによって病院へ行けたものの、病院は何も異状はないとウソの診断を下す。彼女は病院をとび出し日本の歓楽街を転々とするのだが、かつて彼女を助けたアメリカ人神父と再会、ふたりは結婚する。しかし、神父との間に生まれた子どもも奇形があった。神父は絶望し彼女から去つてゆく。ヨンデュは生活のために麻薬密売に手を染め糊口をしのぐのだが、発見しつつある。彼女は心の底から世を呪い、そして自ら命を断つてしまう。

劇中では、アメリカや日本を属るセリフや韓日条約締結の際、この問題を投げ棄てた韓国政府を非難するセリフが数多く出てくる。

「あなたたちはわかるか」「過去も今も未来にもヒバクシャは存在し続けている」最後の部分のこのセリフなどは、被爆者たちの苦痛とこの問題が今もつて解決されていない事實を痛烈に伝えている。

舞台は劇場のまんなかに長方形につくられ、舞台のまわりは全て客席という特異な形をとっている。俳優たちは舞台のまわりに座っている。

舞台は劇場のまんなかに長方形につくられ、舞台のまわりは全て客席という特異な形をとっている。俳優たちは舞台のまわりに座っている。

## 「反核演劇」初の国内上演

在美  
被爆  
ヒバクシャ  
「東亜日報」86. 9.5  
提供：日韓連帯神奈川民衆会議



在米韓国人が書いた「ヒバクシャ」  
被爆二世の悲痛な物語描く

「核問題」がタブーとされている韓国で、初の反核演劇「ヒバクシャ」が上演され成功をおさめた。

韓国人被爆者をテーマとしたこの上演が、当局からの激しい干渉と弾圧を受け曲折の末かられたことはこの記事からも充分うかがうことができる。

ここにあるのは、誰よりも私たち日本人にとって決して「清算」されていない、日韓民衆はひとつの「核状況」を共有し、その重圧は韓国民衆により重く、暗くのしかかっている。

日本とは比べものにならない規制と弾圧の下で、かの国人の人々が「核」をどのようにとらえ、向き合っているのか。そのことに想いをはせることが、私たちの「反核」であることをかたどきも忘れたくはない。

(編集部)

劇場に入ると、四つの壁はどれもみな恐ろしい絵で覆われている。布に描かれた大きな絵のなかで、悲惨な姿をした原爆の被害者たちが悶え苦しんでいる。うめくような日本の音楽が流れてくると、ある瞬間に舞台は暗転し、そのくらやみのなかから天地をゆるがす轟音がひびきわたる。広島に原子爆弾が投下されたのである。

九月四日午後四時半、ソウル東崇洞バタナ

小劇場。核をテーマにした「原爆の演劇」、

「ヒバクシャ」(演出・巫世衆)のオーブニ

おり、自分の出番になると何の不自然さも感じさせずに舞台にあらわれ、退場する。だから、観客は自分がたかもその場にいあわせているような雰囲気を体験できるのである。話の大部をナレーションがおぎなうため、若干、散漫な感じもするが、場面転換がめま

声明

## 新憲法草案批准を!

(タイトルは編集部)

大詰めをむかえているフィリピン新憲法草案にたいする「非核フィリピン連合」見解を述べた声明である。十月三十日の記者会見で発表された。同連合の事務局長カルモ・マナパート氏の十月初旬段階の見解は、「会員の皆さんに『キー・コンタクト』No. 8で紹介したとおり結論として『反人道的』というものであつた。この声明では一転して積極的側面を評価し、批准を呼掛けるものとなつてゐる。この間の討論の経過を語るものとしてマナパート氏による詳しい説明を述べたい。

オラリア人民議長暗殺、それに対する全人民的な抗議の声の高まりなど、フィリピン情勢は引き続き激しい展開を見せてゐる。今後も注目しつづけよう。

人類の歴史において現在ほど核戦争の危機が叫ばれている時はない。新憲法草案がわが国に「非核兵器政策をめざし、選択する」ことを義務づける条項を持つことは、正しい方向への歩みである。これは、わが人民の安全を確かにするのみならず、世界平和を実現するための国際的な努力にも貢献するものである。

われわれ投票および評議員は、われわれの努力と願いに照らして、この草案にもり込まれたのである。

われわれはわが連合の会員、友人、支持者たち、そして全てのフィリピン人民に対しても、この草案の批准を確かなものにするために夫々の役割を果たすよう勧告し、要請する。

われわれもまたこの草案をめぐる討論にわ

八八・一〇・三〇

非核フィリピン連合

ぐるしく劇的な緊迫感は伝わってくる。

演出の巫氏は、公演倫理委員会によって削除されたセリフの使用と、原作をあまりにも大きく変えているという原作者・洪氏の評価

の、両面からの圧力を受けている。(訳Y.)

物語は、広島で被爆した韓国人の少女がその成長とともに悲惨な生涯を送るというものである。主人公・ヨンデュは被爆当時八才の少女であった。はじめは体も健康で何の異常もみられなかつたのだが、祖国へ渡り韓国人

の成長とともに悲惨な生涯を送るというものが存在することが想い起される。

国立劇場公演中止以後、一年ぶりに民間劇団の「テアトル巫」によりこの作品が上演されることは、原爆投下から四一年が過ぎた今日未だに解決をみない我々の悲痛な問題をはじめて本格的な舞台を通じて照明をあててみるという点から、関心をもつ人々の注目をあらわしている。わが国には約一万三千の被爆者が存在することが想い起される。

ングの部分である。先月九日に被爆二世らが集まり、反戦反核をテーマに二十分程の寸劇を公演したことがあつたが、本格的な反核演劇としては今回が国内初のものである。

在米韓国人の作家である洪可異氏が英語で書いた「ヒバクシャ」は、英、米、独、日本では過去に公演されているが、当事国である

わが国では、さまざま微妙な問題から、公演できなかつた作品である。かつては国立劇場でも公演の動きはあつた。しかし、「国立劇団があえて日本を刺激する必要はない」とか「国策と関係のある核問題を国立団体がとりあげる必要があるのか」などの理由からやめさせられたことがあつた。

## 開かれた「私」の実感から…

遠山法子（生活クラブ生協組合員）

昨年、生活クラブ神奈川の反核平和委員として、オーストラリアを訪れた経験もあり、今年はこちでジョーさんを受入れることになりました。そのために「86反核平和アクション」という七名の組合員で構成した実行委員会を作り、ジョーさんの三ヶ月に及ぶ滞在スケジュールの調整をしてきました。

日本全国飛回っての超過密スケジュール。当初、電車の中で居眠りをしている日本人が奇妙に見えていた彼女も、終わりのころにはしっかり仲間入りし、「日本人になったね」と冗談を言合つたものです。

ジョーさんとの出会いで強烈に教えられたのは「開かれた個人（私）」「相手と私は対等」であることでした。私が一番初めにそのことを感じたのは、ジョーさんが日本に着いた日です。

横浜まで車で迎えに来た、私のだんなと友人。二人とも耳が不自由なので、会話は手話。

。英語は全くわからないにもかかわらず、「

ビール飲みますか？」にはじまり、ジョーさんは「道路が狭いのに運転が上手ね」というような内容のことまで互いに身振りを駆使して会話がはずんでいます。私たちがいっおんにジョーさんが好きになってしまったのは言うまでもありません。（ちなみに、日本の男性、とりわけ運動をしている男性が彼等と出会ったとき、直接会話するのをちゅうちゅうすることが多く、いまだに彼等は運動仲間というと堅くて息がつまるといって敬遠してしまいます）。

●ジョー・ヘイターさんの「」



●オーストラリアの反核団体PAN（核軍縮のための人々）で三年前から西部地方調整役をつとめる。26才。独身。週のうち二日は外科病院で看護婦として働き、残りの時間をボランティアとして活動にあてている。●この六月来日し横浜市内を観点に各地の草の根反核グループと交流し十月初めに帰国。●ニュージャージー入港時には佐世保にかけつけ抗議船で熱弁をふるった。

中曾根さんに会わなかつたのが残念と言つていましたが（私がニュージーランドに行つた時、ロンギさんと会つていけばよいのにと書われたのを思出し）政治と国民の距離の中国から見た思いでした。いろいろエピソードはあるのですが、どれをとっても、私たちの感性にしつくり伝わつてくるものでした。ですからジョーさんが帰国したあと、七人のメンバーが意氣盛んに反核に取組んでいるのも、彼女の置き土産なのです。

た。

## 各地から 日米統合演習に 抗議の声上がる

出港した。

【北海道】十月二十六日、翌日からの日米三軍統合実動演習をひかえて、千歳市で全道労協主催の抗議集会。五千人の結集で「北海道を核の戦場にするな」の声をあげる。反核北海道行動の仲間たちは、それに先立つてアメリカ総領事館と海上自衛隊北部方面総監部に抗議の申し入れ。総監部は申し入れの受け取りを拒否。

【東京】「全国運動」が十月九日、日米三軍統合実動演習取りやめの申し入れを防衛庁に対して行う。十二月十四日には「八六年核の総決算」集会をおこなう。来年一月末から二月上旬にかけて開かれる「太平洋運動」の会議（東京）に合わせて、二月一日には「反核国際共同シンポジウム」の共催も準備している。

【朝霞（埼玉）】十月二十六日、朝霞で、浦和市民連合、戦争への道を許さない女たちの会・埼玉、埼玉県反戦、東京北部実行委

（東水労、武藏大自治会など）が自衛隊観閲式パレードに反対する集会とデモ。反トマ首都圏運動も参加。二百人が集まる。集会では梅林さんが日米統合演習に対する抗議行動を訴える。当日、基地と闘う朝霞市民の会などの住民団体も抗議デモを約三十人で行う。

【百里（茨城）】「兵士と労働者」編集委員会は、十月十九日、サイドワインダー誤発射事件のあつた航空自衛隊百里基地の調査活動を行う。草に埋もれていた「自衛隊は憲法違反です」という百里基地反対同盟の立て看板を、草かりを行つてよく見えるようになります。

【横須賀】十月二十六日、毎月の定例予干で海自横須賀地方総監部と米海軍横須賀基地司令部に統合演習中止の申し入れ。

【横須賀】十月二十六日、改修工事中の空母ミッドウェーで海自横須賀地方総監部と米海軍横須賀基地司令部に統合演習中止の申し入れ。

【愛知】十一月十七日、日米統合演習に反対する学習会を行い、あいば野での日米共同演習に抗議する行動に京都と連携しながら取り組む。十一月二十日には守山市の第十師団司令部に抗議。二十二、二十三日と宣伝活動。

【京都】十月二十一日、関西でただひとつ反戦集会」をトマホーク阻止京都連絡会の

仲間が実現。約三十人が参加。

十一月十一日、「陸自・海兵隊共同演習」を許すな！　あいば野を米軍基地にさせないための一・一講演集会」を青木日出雄さんを講師に招いて、三十人の人が大阪などからも参加。中でも演習反対の署名をしてくれた人や女性のグループ「ひとことでなく政治を考える会」の人が初めて集会に参加してくれたのが眼を引く。

十一月二日、仲間二人があいば野演習場の「立入禁止区域」に果敢に「潜入」。演習場の現場に米海兵隊を迎えるためと思われる英文の標識が林立していることを発見。

十月二十九日、神戸の米総領事館に仲間三人が日米統合演習反対を申し入れ。対応に出た館の係員から英文化して本国へ送る旨の確認を引出す。

「吳」　十月二十三日、日米統合実動演習

(キン・エッジ八六) の中止を要請する共同声明が上がる。今年の「六・二九アクション・イン・吳」や中国地方の反基地交流などで交流を深めてきた広島、岡山などの十二団体の連名。岩国、吳、広島、日本原など、中國地方の陸海空の各自衛隊の反基地運動を進めてきた団体が一堂に名を連ねるのはこれまでになかったこと。自衛隊の「統合実動化に

対応してこれからも足並みを揃えていく決意が確認された。アメ大、ヨコスカの他、中国地方の全基地、自衛隊機関十八箇所に送付された。十月十日から末日まで、吳基地監視活動。十月二十二日に佐世保所属の第二護衛隊群・護衛艦「やまゆき」「はつゆき」の吳出港（同艦は二十三日に横須賀に入港後、キン・エッジ参加のため、北へ進路をとる）を確認。

十一月一日、「日米韓軍事同盟を撃つ！」吳集会」がトマホークの配備を許すな！吳市民の会主催で四十数名参加し行われた。山川暁夫さんの講演をうけた後、中曾根首相、レーガン大統領と栗原防衛庁長官あてに「あいば野」での共同演習実施に反対する特別決議を採択。

この他吳では、さる十月十日、横須賀で行われたピース・フェスティバル八六に出演する絵を描くため「写生大会」を実施。自衛艦のみえる丘に親子連れ三十人で登って皆で楽しく絵を描いた。それまで集会などに来たがらなかつた人達も何名か参加して和気アアイイ、"またやろうよ"の声もある。みんなの地域でもいかが。連絡先・吳市民の会  
(〇八二三・二一・二四一四　吳YWCA会  
付、草刈)

「広島」　十月二十七日、二十八日、ストップ・ザ・戦争への道・広島講座など八団体が連名で、広島市（非核都市宣言はとうに上がっている）に要請書を提出。トマホーク搭載艦メリルの入港した事態を踏まえ、今後このような艦が入港しようとした場合、核の有無が確認できなければ、寄港を拒否するよう要請。

「福岡」　十月二十六日、福岡共同行動の仲間が陸上自衛隊第四師団司令部のある春日原基地の「基地祭」に抗議行動。国鉄南福岡駅前でピラミッドを行つた後、基地周辺で宣伝力一をつかつた訴え。事故の問題や日米統合演習などについて一般隊員にもよびかける。

「熊本」　十一月二日、三日、人吉市でえびのVLF（極低周波）潜水艦通信基地建設に反対する会議を行う。地元の住民の他、熊本、福岡からも参加し、来年の工事着工にむけて全九州的な運動の拡大を確認。スライドの作製、非核市民団体へのよびかけなどをうこと決めた。

（○八二三・二一・二四一四　吳YWCA会  
付、草刈）